



さらいぐみこ
皿谷久美子
公明党
(30分)

文化芸術の振興は

問 ①本市における文化芸術の位置付けは。

②文化芸術振興基本条例についての市長の考えは。

答 ①文化芸術は、人々の創造性を育み、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供する心豊かな社会の形成にとつ



のむらしづえ
野村志津江
公明党
(30分)

高齢者支援の取り組みは

問 全国の中核市と比較した本市の高齢社会の現状と課題は。また、本市独自のフレイル予防事業の取り組みは。

答 2018年度の統計数値による中核市比較では、本市の高齢化率は平均的水準にあるが、要介護認定率は若干高い。とりわけ要

て不可欠なものである。そのため本市では「歴史と文化が大切にされるまちづくり」を重要な施策の柱に位置付けている。

②本市には、書道や茶道などの裾野の広い生活文化があり、絵画、文学、音楽などの芸術を大切に守ってきた多くの方々がおられる。本市が誇る文化や芸術、歴史に

しっかりと目を向け、ふくやま未来づくりビジョンの中で具体的な施策に取り組んできた。引き続き文化芸術基本法にのっとり文化芸術の振興に努め、計画の策定を検討していく。

支援1の認定率が中核市平均の2・9%に対して5・4%と高い状況にあり、フレイル予防の取り組みが重要と考える。

フレイル予防事業は、健康状態を見える化し、最適な支援につなげていくものである。本市では、独自の事業としてタブレット端末を使ってフレイルチェックを行い参加者に過去と現在の変化を分かりやすく示すほか、得られたデータを分析し、より効果的な事業となるよう進める。



こほだけ
小島 崇弘
誠友会
(40分)

浸水対策の進捗状況は

問 ①福川の排水機整備は。②仮設ポンプの市内への設置状況は。

③豪雨の発生等に向け、避難場所の収容人数をどう考えるか。

答 ①2023年度の完成をめざし、抜本的な浸水対策に取り組んでいる。



のつとむ
能宗 正洋
誠友会
(65分)

2025年開催の世界バラ会議福山大会は

問 大会開催に向けた市長の思いは。

答 100万本のばらのまち福山で世界中のばらを愛する人々と平和の尊さを分かち合い、交流やふれあいを大切にした「市民みんなで創る」大会をめざす。



ばら公園 (花園町)

機に
していく。

福川の排水機能を整備するため県は排水機場の新設に取り組んでいる。昨年度、用地取得が完了し今年度は詳細設計を完成させるとともに瀬戸川への吐き出し口の工事に着手すると聞いている。

②県は、5月に福川と神辺町の天王前川に仮設ポンプを設置したと聞いている。

③収容人数を通常の4分の1としたが、最大120カ所の避難場所を確保し、約2万5千人の受け入れが可能である。感染症対策の視点からは、親戚や知人宅への避難等、分散避難も検討してほしい。

20回目を迎える記念すべき福山大会へ向けて、感染症予防等の安全対策に万全を期し、ばらの新たな可能性や希望が感じられる新しい未来を共創する大会となるよう取り組み、本市の大きな飛躍の契

*スクールソーシャルワーカー (P.6):教育、福祉の知識や技術を有する専門職。いじめや不登校、虐待などの課題に対し、家庭や学校などの環境に着目した働きかけや、関係機関との連携などにより解決へ向けた支援を行う。